



地域医療連携室だより



Vol.168

だより内に  が 5ヶ所登場しています。ぜひ探してみてください。疫病退散。

発行元 地方独立行政法人
市立大津市民病院 地域医療連携室
住所 〒520-0804
滋賀県大津市本宮二丁目9番9号
電話 077-526-8192
FAX 077-522-0192 発行日:2023年5月1日

市立大津市民病院 検索

地域医療連携支援センター長就任のご挨拶

柔軟性と弾力性を備えた 地域医療連携支援センターへ

地域医療連携支援センター センター長:北川 智美 きたがわ ともみ



比叡山から吹き下ろす風も冷たい季節を通り過ぎ、さわやかな風に変わりました。

市立大津市民病院も新年度を迎え新たな風が吹いています。さらなる地域連携の絆を深めるために、地域医療連携支援センターを立ち上げ、これまで別々に活動していました地域医療連携室、入退院センター、訪問看護ステーション、患者相談支援室が集結した組織とさせていただきました。

この度、地域医療連携支援センターのセンター長に就任致しました北川智美と申します。看護師として医療の現場で経験を積み、在宅診療の現場にも経験があります。地域連携の組織で行うことに必要なのは、病院だけを見る目だけではなく、広く地域を見ることが必要であると考えています。時に、病院の外から病院を俯瞰して見ることができることが、病院と地域をつなぐ組織の管理には必要なことであると思います。皆様から忌憚のないご意見をいただく事、それを組織に伝え変革を起こすことが役割と認識しております。

現在、医療は国の方針の下、地域医療構想にて医療体制が大きく変化しようとしています。逆境とも言える流れの中で私たち市立大津市民病院は幾多の困難を乗り越えた人の集団です。その経験を強みとして柔軟性＝変化に応じた適切な医療提供を行い、弾力性＝それを力にさらにより医療体制を行うことを実践して参ります。



女性医師外来の紹介

女性医師だから相談できる「病気の悩み」

市立大津市民病院では女性医師が下記診療科で外来を担当しております。

男性医師に相談しにくい症状などございましたら、ぜひ、ご紹介ください。

外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、眼科、総合内科、内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、心臓血管外科、皮膚科、形成外科、産婦人科、歯科口腔外科、整形外科の外来で女性医師が診察を行っております。

同封のご紹介枠専用の外来診療担当表や病院ホームページの外来出番表を確認して頂き、患者様紹介時の参考にして頂ければ幸いです。

新任部長就任のご挨拶

一般・乳腺・消化器外科 乳腺外科部門
診療部長：川口 佳奈子



令和5年4月より市立大津市民病院の乳腺外科診療部長を拝命致しました。三重大学医学部を卒業後、日本赤十字社和歌山医療センター・大阪医科薬科大学附属病院・市立ひらかた病院・高槻赤十字病院などで、1000件以上の乳がん手術を行い研鑽して参りました。乳腺診療におきましては先生方と市民の皆様にご迷惑をおかけしておりましたが、この度常勤医2名体制での乳腺診療を再始動させて頂く事となりました。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

乳がん罹患患者数は年々増加しており、9人に1人は乳癌に罹患すると言われています。＜乳房が痛いけどしこりはないし受診したほうが良いのかわからない＞＜しこりかどうかかわからないけど触れるものがあるって心配＞＜男性だけど乳房が痛くて腫れてきた＞など、乳房に関する心配事がございましたらどのような事でもまずは当科にご相談下さい。緊急時には予約枠に関わらず可能な限り迅速に対応致します。

乳がんは他の癌腫に比して若い年齢での罹患が多い事が特徴です。仕事や育児など多忙な中で突然乳癌の告知を受け、これからどのようにしていったら良いのだろうと戸惑いと混乱を抱く患者さんが多くいらっしゃいます。患者さんやご家族には、なるべく元の生活を損なう事なく且つ治療にも全力で取り組めるよう、乳腺診療チーム全体でサポートできるよう心掛けております。

また、当院では、健診部門から終末期の緩和ケア病棟部門まで、乳がんに関わる患者さんにご家族を一貫して切れ目なくサポートできる体制が整備されております。他科や他部署との連携が強固である事も当院の特徴です。高精度の画像診断・病理診断、多遺伝子アッセイやコンパニオン診断に基づく最適化・個別化薬物治療、根治性と整容性を両立させた形成外科との乳房再建術などを駆使し、高度な治療をご提供します。一方、高齢化社会において高齢者乳癌の比率も上昇しております。患者さん自身が大切に生きてきた人生観を可能な限り尊重しながら、個人に合った最善な治療をご提案できるよう寄り添った治療を心掛けます。

また、この度当院では女性外科外来を開設致します。乳腺疾患のほか、痔などの肛門病変、鼠径ヘルニア、尿やお通じの悩みなど、各疾患の女性専門医が診察を行います。男性医師には相談しにくい症状や部位の相談をご希望の際は、是非受診をご検討下さい。

市民の皆様のご健康をお守りすべく、市立大津市民病院は今まで以上に一致団結しております。誠心誠意尽力して参りますので、地域の先生方にはご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



女性泌尿器外来の紹介と

新規採用医師のご挨拶

泌尿器科:片山 真由果



2023年4月より市立大津市民病院に赴任しました片山真由果と申します。

2018年に滋賀医科大学を卒業し、以後県内の病院で臨床業務に従事してきました。実際に外来や手術を担当させていただいた患者様からは「女の先生なので相談しにくい内容も相談できた」「症状について悩んでいたけれど受診できずにいたが、女の先生と聞いて思い切って受診してよかった」といった声をいただくことが多く、全国的にもまだまだ少ない女性泌尿器科医として働くことに日々やりがいを感じています。市立大津市民病院でも地域の皆様に寄り添った医療を提供できるよう、女性ならではの視点を持ちながら日々努力を重ねたいと思っております。これからどうぞよろしくお願いいたします。

女性に多い泌尿器疾患といえば、骨盤臓器脱、過活動膀胱、尿失禁、間質性膀胱炎、反復性膀胱炎などがあります。症状は、頻尿や尿失禁・排尿時痛など患者様本人が説明できるものから、なんとなくある陰部の違和感や下腹部痛といった患者様本人も説明が難しいものまで多岐にわたります。こういった「シモの悩み」を抱えている患者様は何科を受診していいのかわからずに困っている場合や、男性医師には相談しにくいと感じて受診を諦めている場合があります。そのような方に寄り添うべく、この4月から当院では女性泌尿器科外来を設立いたしました。木曜日午後に予約枠を設けており、私が担当させていただきます。まずは患者様のお話を聞いてどのような治療介入ができるのか検討し、患者様と相談しながら治療を進めて参りたいと考えています。必要に応じて仙骨脛固定術や尿道スリング術などの手術加療も当院でさせていただきます。女性の「シモの悩み」は産婦人科との境界領域の疾患であることも多々ありますが、その場合は産婦人科の医師と協力しながら診察させていただきます。まずはどんな症状でもお気軽にご相談いただけましたら幸いです。

地域の先生方とともに、悩まれている患者様のお力になれるよう努めてまいりますので、何卒よろしくお願いいたします。

ご紹介お待ちしております



新任部長就任のご挨拶

歯科口腔外科 口腔腫瘍センター長:山本 学



2023年4月1日付けで歯科口腔外科 口腔腫瘍センター長を拝命しました。

私は1982年に大阪歯科大学を卒業後、直ちに本院歯科口腔外科へ入局し、研修医2年間を含め、計4年間勤務しました。その後、滋賀医科大学へ移り、本年3月末で定年退職したところを河内明宏理事長に拾って頂きました。専門は口腔腫瘍の手術です。

歯科界において、これまでは歯の形態回復(虫歯の治療等)や歯のなくなった部分の修復(入れ歯やインプラント)が主流でしたが、近年では口腔機能の維持と管理が重視され、こちらに大きくシフトしつつあるように思います。本院は「地域包括システム」という大きな枠組みの中で大津市における医科歯科連携、病診連携、病病連携等を推進させる中心的な存在の病院です。周術期の患者さんの口腔衛生管理のみならず、全科の入院患者さんを対象として低栄養、フレイル、サルコペニアの進展を防ぐために口腔衛生管理を徹底しながら口腔機能の低下を防ぐ強固な院内連携体制を各科の皆様のご協力を得ながら構築し、全国へ発信したく思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

新規採用医師のご挨拶



呼吸器内科:井ノ口 乃英瑠

2023年度よりJCHO 神戸中央病院より赴任しました、呼吸器内科 井ノ口 乃英瑠と申します。今後呼吸器診療の領域で大津市の地域住民のお役に立てるよう努力致しますので、何卒よろしくお願い致します。



歯科口腔外科:山田 理人

2023年4月より滋賀医大の歯科口腔外科から赴任して参りました、山田理人(やまだまさと)と申します。患者さんを家族のように考え、他科との連携を意識しながら、当院に長く貢献していきたいと考えております。宜しくお願いいたします。



内科:江頭 文

今年4月より血液内科でお世話になっております、江頭文と申します。血液内科のみならず、幅広く内科疾患を診られるよう日々精進して参りますので、今後ともよろしくお願い致します。



内科:堀内 萌生

糖尿病・内分泌内科専攻医4年目の堀内 萌生(もえ)と申します。至らぬ点など多々あるかと思いますが地域の医療に貢献できるよう、一生懸命努力してまいりますので何卒よろしくお願い申し上げます。



消化器内科:大井 舜也

今年度より消化器内科に配属となりました大井舜也と申します。研修医時代から市立大津市民病院で大津の医療に関わってきました。引き続き地域に貢献できる医療をしていけたらと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



きむら ひでとみ
消化器内科:木村 英富



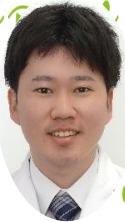
今年から市立大津市民病院で勤務させていただきます木村英富と申します。患者様に寄り添った診療とともに患者様の満足のいく医療の提供を心がけております。よろしくお願いいいたします。

つじ なおあき
呼吸器内科:辻 尚朗



4月から呼吸器内科に赴任しました、呼吸器内科辻と申します。誠心誠意頑張りますのでよろしくお願いたします。

もりた だいき
呼吸器内科:森田 大毅



2023年度4月から呼吸器内科赴任となりました、森田大毅と申します。まだ呼吸器内科医として未熟ではありますが、丁寧な診療を心がけ精進していきます。今後ともよろしくお願いたします。

ほりぐち こうへい
**一般・消化器外科:
堀口 晃平**



4月から一般・消化器外科・乳腺外科に赴任しました、専攻医2年目の堀口晃平と申します。まだまだ未熟ではありますが即戦力となれるように日々精進して参ります。

さわむら えいほう
**一般・消化器外科:
澤村 栄鳳**



一般・乳腺・消化器外科として赴任しました澤村 栄鳳です。至らぬ点多々あるかと思いますが、精一杯尽力して参ります。皆様のお力になれるよう頑張りますので、宜しくお願申し上げます。

たなか みちあき
乳腺外科:田中 亨明



大阪医科薬科大学 乳腺外科から赴任してまいりました田中亨明です。患者から信頼されるような診療を心がけこれから精進して参ります。大津は自然が多く、病院からの景色もよく大変気に入っております。皆様のお力になれるように頑張りますのでお力添えよろしくお願いたします。

さわ あんじゅ
皮膚科:澤 杏樹



京都府立医科大学附属病院より赴任しました、皮膚科後期専攻医の澤杏樹と申します。皮膚科医としてもまだまだ未熟ですが、皮膚に関する事で少しでも皆様のお役に立てればと思っております。よろしくお願いたします。

いわお みき
麻酔科:岩尾 美希



今年度より麻酔科医として勤務することになりました岩尾美希と申します。麻酔科医として安全に手術を行えるように日々精進して参りますので、どうぞよろしくお願いたします。

しまだ たくや
麻酔科:島田 拓矢



麻酔科に赴任いたしました島田拓矢と申します。大津の地域医療に貢献できるよう鋭意努力してまいります。プライベートでは滋賀の文化(琵琶湖の文化?)に触れることを楽しみにしています。どうぞ、よろしくお願いたします。

ご挨拶



患者相談支援室 室長:林 美保



平素は市立大津市民病院の患者相談支援業務にご支援いただきありがとうございます。

昨年度より患者相談支援室部長に津田医師、今年度より室長に林が就任いたしました。

また、他 2 名の看護師と事務員で相談支援業務を行っています。

患者相談支援室では、患者様やご家族が安心して治療を受け、より快適な療養生活を送っていただくために様々な相談に対応しています。相談内容に応じて関連部署や職種と連携を取りながら、公平・公正な問題解決を行えるように、医療従事者と患者様・ご家族の対話促進のための支援を行っています。また、院内にはご意見箱を設置し、いつでもご意見をいただけるように努めています。

どうぞよろしくお願い致します。

入退院センター 室長:吉田 すみ子



今年度より、地域医療連携室と患者相談支援室、訪問看護ステーション、入退院センターが統合した地域医療連携支援センターが立ち上がりました。

入退院センターでは病床管理・入院支援・退院支援を担当しています。入院から退院まで患者さん個々に寄り添いトータルにサポートできるよう努めています。

地域医療連携支援センターとして連携を強化しながら入退院センターの運営力を高め、サービスの向上に努めていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

MSW アイコさん



作・画 まきろん

※マスクは外して描いています。